第3節 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

【現状と課題】

念されています。

農業・農村は、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、その利益は広く国民が享受しています。清らかな水、棚田等が織りなす美しい景観や、ため池、疏水、水田といった多様な水辺環境が育む豊かな生態系は、持続的な農業生産活動により発揮される農村の魅力のひとつであり、近年の農村生活への関心の高まりにより、その価値が再認識されています。

しかし、農村では過疎化や高齢化が進み、農業者個々の生産活動をはじめ、環境保全等の地域の共同活動が十分にできず、荒廃農地の増加等によって多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。 また、共同活動の困難化に伴い、農地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する農家負担の増加が懸

一方、疏水、ため池、棚田等の農業資産は、新たな観光資源として関心が高まっています。特に棚田地域においては、棚田の保全に取り組む方々が直面している課題解決と、多様な主体が参画する活気ある未来像を描くための枠組みである「棚田地域振興法」が令和元年に施行されました。更に令和4年3月には、棚田地域の振興に関する取組を評価する「つなぐ棚田遺産〜ふるさとの誇りを未来へ〜」に、県内15か所の棚田が認定されました。棚田の保全とともに、棚田地域における定住や二地域居住、国内外の地域との交流促進が期待されています。



稲倉の棚田(上田市)での参加・体験型行事 「ししおどし」

【基本方向】

- ▷ 農村地域の資源や環境を次代へ引き継ぐため、農家のみならず地域住民や都市住民も含めた農村を支える多様な担い手の確保と、地域ぐるみで行う共同活動を支援します。
- ▶ 疏水やため池等にまつわる歴史や美しい景観などの魅力を広く発信するとともに、観光や地域学習に 活用することにより、農業・農村が有する多面的機能への理解の醸成を図ります。
- ▷ 「つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~」を始めとする、県内各地の棚田の保全活動を支援し、 つながり人口の増加による地域の活性化を図ります。

【達成指標】

項目	現 状 (R3年度)	計 画 (R9年度)	設定の考え方
地域ぐるみで取り組む多 面的機能を維持・発揮す るための活動面積	49,343ha*	50,200ha	農業・農村の多面的機能を維持・発揮するため、 地域ぐるみの協働による取組を維持する。

【管理指標】

項目	現 状 (R3年度)	計 画 (R9年度)	管理内容等
多面的機能支払事業による 活動面積	43,974ha*	44,750ha	多面的機能支払事業の活動面積(ha)

[※]多面的機能支払事業は、活動面積(認定面積)を集計(第8次計画までは交付対象面積を集計)

【進行管理事項】

項目	管理内容等
多面的機能支払事業における多様 な主体の参画状況	多面的機能支払事業への農業者以外の活動参画人数及び団体数 (人・組織)
観光資源として環境整備された疏水、ため池、棚田等の箇所数	新たに、安全施設・案内看板などの環境整備や、案内人の配置などの体制整備、定期的・継続的なイベントの開催等により、観光資源として活用した疏水、ため池、棚田等の箇所数(か所)[8次から継続]
小学生等の地域学習教材として環 境整備された疏水、ため池、棚田 等の箇所数	新たに、安全施設・案内看板などの環境整備や、案内人の配置などの体制整備、定期的・継続的なイベントの開催等により、地域学習教材として活用した疏水、ため池、棚田等の箇所数(か所)[8次から継続]
指定棚田地域の活動計画	指定棚田地域の活動計画認定数 (計画)
新たな連携による棚田保全活動の 取組数	新たに企業や学校などとの連携した棚田保全活動を開始した取組 数(件)

【具体的な施策の展開】

● 多様な主体の参画による地域づくりの支援

- ・農地・農業用水路等の地域資源や農村環境を良好な状態で次代に引き継ぐため、地域の話合いのも と、協働して行う農地や水路等の保全管理活動を支援します。
- ・農地・農業用施設等の保全に取り組む地域の継続と拡大を図るため、長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会や農業関係団体と連携し、活動組織の事務負担軽減や活動組織間での資機材、人材、予算の融通を可能とするための広域化等を支援します。
- ・共同活動を担う人材の確保に向け、農業・農村が有する多面的機能に対する地域住民等の理解を深めるための情報発信や地域学習の取組を支援します。



地域の協働による地域資源や農村環境の保全

多面的機能支払事業により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための共同活動 を支援し、地域資源の適切な保全管理を進めています。

本事業に取り組む140活動組織への抽出アンケートによると、約6割の活動組織が、「農村環境保全活動は、非農業者や非農業団体が本交付金の活動やその他の地域活動に参加するきっかけとなっている」と回答しています。

また、約8割の活動組織が、「本事業に取り組んでいなければ、活動の実施や参加者が減る、あるいは活動を行わないだろう」と回答しており、各種団体や非農業者の参画が増えています。(令和3年度多面的機能支払交付金事業中間評価書から)



水路の泥上げ



用水路の目地補修



農道のコンクリート舗装



水路周りの草刈り



住民参加による農地周りへの植栽



地域の将来像の語り合い

● 疏水・ため池・棚田などの農業資産の魅力発信や地域学習への支援

- ・農業・農村が有する多面的機能への理解を促進するため、市町村や施設管理者と連携して、世界かんがい施設遺産、つなぐ棚田遺産、疏水百選、ため池百選をはじめとする農業資産の魅力を県内外 に発信する取組を支援します。
- ・地域住民自らの創意と工夫により、歴史的な農業資産、農村の景観、伝統・文化などを地域学習や 観光のテーマとして活用できるよう、デジタルコンテンツ等の資料充実に向けた取組や、安全柵・ 案内看板などビューポイントの環境整備を支援します。
- ・施設を健全に次代へ引き継ぐために行う維持管理の大切さを地域住民や将来を担う子どもたちなど、 多くの人々に理解してもらうため、信州の農業資産が持つ歴史や物語、景観などを題材とした「学 び」の取組を支援します。
- ・地域発展の歴史や景観形成等に深く貢献した施設を再整備する際には、その歴史的価値に配慮した補修・改修工法を検討します。
- ・信州の魅力あふれる棚田を将来にわたって保全していくため、信州棚田ネットワークと連携して魅力を発信するとともに、保全団体が行うオーナー制度やイベントの開催を支援します。これにより、 県内外で棚田のファンを増やし、多様な主体の連携・協力を進めます。

世界かんがい施設遺産や百選等に選ばれた農業資産

「世界かんがい施設遺産」 3施設(令和3年度末)

拾ケ堰(安曇野市)、滝之湯堰・大河原堰(茅野市)、五郎兵衛用水(佐久市)

「日本遺産」の構成文化財 2地域(令和3年度末)

姨捨の棚田、大池、更科川・分水工・用水路(千曲市) 塩田平のため池群(上田市)

「疏水百選」 5か所(全国1位)

五郎兵衛用水(佐久市)、塩沢堰(立科町)、拾ケ堰(安曇野市) 善光寺平用水(長野市)、八ヶ郷用水(中野市)

「ため池百選| 5か所(全国2位)

塩田平のため池群 (上田市)、御射鹿池 (茅野市)、荒神山ため池 (辰野町) 千人塚城ヶ池 (飯島町)、菅大平温水ため池 (木祖村)

「つなぐ棚田遺産」(ポスト棚田百選) 15か所(全国3位)

稲倉の棚田(上田市)、山室の棚田、中尾の棚田(伊那市)、飯沼の棚田(中川村)、よこね田んぼ(飯田市)、 市野川棚田(麻績村)、青鬼の棚田(白馬村)、小谷村棚田群(小谷村)、根越下沖の棚田、栃倉の棚田、大西の棚田、 田沢沖の棚田(長野市)、姨捨の棚田(千曲市)、福島棚田(飯山市)、野沢沖の棚田(野沢温泉村)



五郎兵衛用水 (佐久市)

~ 魅力あふれる「信州の農業資産」の世界をご案内します ~

信州の農業資産 魅力ガイド



疏水(農業用水路)やため池、棚田には、知られざる歴史があり、地域の伝統、文化を育み、「水」がつくりだす四季折々の景観は、訪れる人々を魅了しています。

それらの魅力を多くの方に知っていただき、「農 業資産」に関心を持っていただくため、ガイドマッ プを作成しました。

県内で初めて「世界かんがい施設遺産」に登録された安曇野市の「拾ケ堰」、茅野市の「滝之湯堰・大河原堰」をはじめ、113箇所の農業資産を紹介しています。



信州の農業資産を巡る旅 観光モデルコース



美しい山並みを水鏡に映し 出すため池、圧巻の風景を作 り出す棚田、重厚な佇まいの 水路橋まで、一見の価値があ る農業資産と、食や観光スポッ トを組み合わせたモデルコー スを紹介するリーフレットで

南北に長い長野県を10のエ リアに分け、エリアごと、計 11コースを紹介しています。



「Web ページも〕



https://nagano-agri-inheritance.jp/

○ 信州の農業資産を巡る旅



-度は訪れたい 信州の農業資産









こうして築かれた農業資産は、農産 物の生産性を飛躍的に向上させるとと もに、人々の生活や文化の基礎となり、 信州が誇る農村景観や自然環境を豊か に育む役割も果たしてきました。

先人たちが築き守り、今なお農の営 みを支え続ける「信州の農業資産」。 それら次代に継がれるべき景観やおい しい農産物のルーツを訪ねる旅を、歴 史や技術など、様々な視点から紹介す るパンフレットです。

~ 社会科副教材「わたしたちの食料を支える 長野県の米づくり」~ ◀



私たちが住む長野県では、教科書に掲載されている平坦な地域とは異なり、 山に囲まれた傾斜地が多い地形、寒冷で降水量が少ない地形など、米づくりに とって決して恵まれているとはいえない条件の中で、全国トップクラスの生産 性や品質を誇る米づくりが営まれています。

そこには、不利な条件を克服するための農業者のたゆまぬ努力とともに、地 域の水田や用水路をつくり守ってきた人々による様々な工夫があります。

県では、米づくりに携わる人たちの努力や工夫、将来の姿など、長野県の米 づくりの特徴を、次代を担う子どもたちに伝え、考えてもらいたいと思い、信 州社会科教育研究会監修の下、社会科の副教材を制作・配布しました。

この学習を通じ、一人でも多くの子どもたちに、農業に興味を持ってもらい、 農業がかっこよく魅力的な職業だと思ってもらえることを願っています。

▲本冊表紙



◎注目ポイント!

- ▷ 中山間地が多い長野県の米づくりの特徴 と工夫を解説
- ▶ ワークシートを使って児童が主体的に学 べる
- 先生向け「活用の手引(指導者用)」もセッ
- Web サイトにある「パワーポイントス ライド」を授業で活用できる!
- ★全国農村振興技術連盟「令和2年度農 業農村整備事業広報大賞」を受賞しま した!

▲本冊の内容



PARCE NATIONAL PROPERTY AND PARCE NATIONAL PROPERTY PROP

▲米づくりすごろく

YouTube で関連動画を公開中





https://www.youtube.com/channel/UCsYRXV 6rO56EEzkSQDoRQ8w/playlists

PDF 版教材も下記 Web サイトで公開中!!



《長野県農政部農地整備課 HP》 https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/fukukyouzai.html

○ 長野県の米づくり 副教材

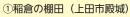


令和4年3月「つなぐ棚田遺産」に15か所の棚田が認定

- ○平成11年に「日本の棚田百選」が認定されてから20年が経過し、農業者の高齢化等により従来のよう な保全活動が困難となっていましたが、令和元年に棚田地域振興法が施行され、棚田地域の振興に関す る取組が広がりつつあります。
- ○農林水産省は、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面 的な機能に対するより一層の理解の促進を目的として、改めて優良な棚田を認定する取組「つなぐ棚田 遺産~ふるさとの誇りを未来へ~」を実施しました。

⑤よこね田んぼ (飯田市千代)

- ○令和4年3月に開催された「つなぐ棚田遺産」の認定式において、全国で271か所の棚田が認定され、 そのうち県内では15か所(全国3位)の棚田が認定されました。
- ○長野県の貴重な財産である棚田を保全し、観光や都市農村交流等の取組を通じた交流人□の増加により、 棚田を核とした棚田地域の振興を図ります。







⑥市野川棚田(麻績村市野川)



③中尾の棚田 (伊那市長谷)



④飯沼の棚田 (中川村大草)



⑦青鬼の棚田(白馬村北城)



⑧小谷村棚田群(小谷村内一円)







⑩栃倉の棚田 (長野市中条)

⑨根越下沖の棚田 (長野市大岡)





⑫田沢沖の棚田 (長野市中条)



③姨捨の棚田 (千曲市八幡)



⑭福島棚田 (飯山市瑞穂)



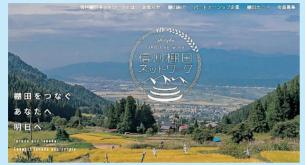
⑤野沢沖の棚田 (野沢温泉村豊郷)



~ふるさとの誇りを未来へ~

信州棚田ネットワークによる棚田の魅力発信と保全活動の支援

ホームページや棚田カードの作成・配布、銀座 NAGANO での物販イベントによる棚田の魅力発信、企業等多様な主体と保全団体との連携・協力・交流、棚田セミナーの開催、企業等と保全団体による棚田パートナーシップ協定の締結を実施しています。



HP を開設し、信州の棚田の魅力を発信



銀座NAGANOでの物販イベントによる魅力発信



棚田パートナーシップ協定の締結







《信州棚田ネットワーク HP》

棚田を訪れてもらえる「棚田カード」

